

平成 23 年 1 月 25 日

東京都教育委員会 様

東京都公立高等学校 P T A 連合会  
会 長 高橋 多佳子

## 要 望 書

## 1. 特別教室等への空調設置

現在、都立高校には空調設備が設置されていない特別教室があります。平成 22 年 11 月に各校にアンケートを行った結果には、調理室、美術室、理科実験室には早急に設置が必要との声が上がっております。

井草高校では、被服室、調理室では 7 月から 9 月にはガス、オーブン、アイロンを使うため室温が 39 度以上になり、授業計画に被服作成、調理実習が組めない実情です。グラウンドの砂が入るので窓は開放できません。

多くの学校で自習（補習）室を設けていますが、朝早い時間に登校して学習する子ども、単位制の学校で空き時間に自習をする子どもの居場所としての自習室への空調設置は学力向上に資するものと考えます。

農業高校被服科では布を扱うため窓を開放しての作業が困難であります。農業科での実験実習室にも空調設置がありません。蔵前工業高校では習熟度別教室に設置が待たれています。

実情を鑑みまして、調理室、美術室、理科実験室、補習、自習（補習）室、実業系高校の実習室への早急な空調設置をして下さい。

## 2. カウンセラーの実質的な全校配置

私どもはスクールカウンセラーの全校配置を求める陳情を平成 21 年都議会第 4 回定例会にて意見付き採択していただきました。しかしながら毎年カウンセラーの配置が各校から要望されるものの、なかなか実際の配置には至らないというのが実情です。

都立高校には、中途退学者対策として現在約 60 校にカウンセラーが配置されており、退学者が減少したという成果が出ています。しかし、カウンセラーの役割は、退学者対策だけにとどまりません。実際の現場では、子どもたちのメンタルケアにとどまらず、社会性の乏しい親・保護者に振り回される教職員の相談にも乗り、我が子とのコミュニケーションが取れず悩む親たちにさまざまな助言を行うという役割も果たしています。カウンセラーの存在が学校現場に安心をもたらしており、実際、配置されている学校の教職員・保護者からの信頼も厚く、頼りにされていると聞きます。昨今の経済情勢の不安感、就職進学への悩み、理不尽クレームの増加など学校を取り巻く状況は一層深刻になっていることは申すまでもありません。専門機関への橋渡し役としてのカウンセラーへ

の相談が、問題解決の大きな一歩になったケースもあると聞きます。

相談のための施設設備を用意し、最低週 1 回全校にカウンセラーがきてくれるよう環境を整えていただくことを強く要望します。

### 3. 学校図書館司書の実質的な全校配置

子どもたちの学ぶ場所として、学校図書館を常に開館していただきたく、またその施設管理のために司書に常駐してほしいことを要望いたします。

なお、私どもは有資格であるならば正規雇用にこだわるものではありません。また、教員に負担をかけない形を望んでおります。

### 4. 学校設備の拡充

学校へのアンケートの中に「お困りのこと、または要望があるか」と設問いたしましたところ、68 校から施設の更改、拡充の希望を回答されてきました。

校舎の老朽化による雨漏りがある、校庭の土ぼこりが自校のみならず近隣に迷惑をかけている、トイレの改修希望が上がっております。

それぞれの学校で困っている事柄は少しずつ違いますが、概ね老朽化に由来する困りごとが多く寄せられました。

その他、生徒の駐輪場の確保、雨天時に使える作業場がほしい、住民参加の行事が多いので体育館に空調設備を望む（島嶼）、寄宿舍全室に空調を希望する（島嶼）などの声が上がってきています。部活動が盛んで練習場所、楽器の置き場に苦慮する学校もあります。

個々の学校の実情に応じた適切な対応をお願いいたします。

（資料として平成 22 年 11 月 8 日実施のアンケート、回答の集約を添付します）

以上、4 つの項目にわたりまして、都立高校を取り巻く喫緊の課題を集約いたしまして提出します。

私ども東京都公立高等学校 P T A 連合会は、子どもたちの教育環境条件の改善を目指して一日も早い実現を強く要望するものであります。

以 上